

# 三多摩公立博物館協議会加盟館アクセス一覧

No.	館名	アクセス
1	奥多摩水と緑のふれあい館	JR 青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	青梅市郷土博物館	① JR 青梅線「青梅駅」下車徒歩 15 分 ② JR 青梅線「青梅駅」から都バス「駒木町循環」(梅 77 系統)に乗り、「郷土博物館入口」バス停下車徒歩約 5 分
4	あきる野市五日市郷土館	JR 五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩 17 分
5	羽村市郷土博物館	① JR 青梅線「羽村駅」西口下車徒歩 20 分 ② JR 青梅線「羽村駅東口」からコミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
6	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子市こども科学館)	JR 中央線「八王子駅」、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩 2 分
7	桑都日本遺産センター 八王子博物館	① JR 中央線「八王子駅」南口から駅直結 ② 京王線「京王八王子駅」から徒歩 8 分
8	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	① JR 八高線「北八王子駅」下車徒歩 10 分 ② JR「八王子駅」より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩 5 分
9	福生市郷土資料室	JR 青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩 7 分
10	瑞穂町郷土資料館 (けやき館)	JR 八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩 20 分
11	武蔵村山市立歴史民俗資料館・分館	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩 1 分 分館：西武拝島線・多摩モノレール「玉川上水駅」から武蔵村山市内循環バス「大南三丁目」下車徒歩 3 分
12	立川市歴史民俗資料館	① JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車、徒歩 5 分 ② JR「立川駅」南口から立川駅北口行きバス「農業試験場前」下車、徒歩 5 分 ③ JR 青梅線「西立川駅」下車、徒歩 20 分
13	日野市郷土資料館	① 多摩モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩 5 分 ② 多摩モノレール「程久保」下車徒歩 7 分
14	東京都立大学 91 年館	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約 5 分
15	帝京大学総合博物館	① 京王線「聖蹟桜ヶ丘駅」、「高幡不動駅」、「多摩センター駅」より京王バス「帝京大学構内」行きに乗りし終点にて下車約 18 分 ② 多摩モノレール「大塚・帝京大学駅」下車徒歩 15 分
16	東大和市立郷土博物館	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行きで「八幡神社前」下車徒歩 2 分
17	東村山ふるさと歴史館	西武新宿線・国分寺線・西武園線「東村山駅」西口下車徒歩 8 分
18	国立ハンセン病資料館	① 西武池袋線「清瀬駅」南口から西武バス「久米川駅北口行」で約 10 分 ② 西武新宿線「久米川駅」北口から西武バス「清瀬駅南口行」で約 20 分 (いずれも「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	JR 南武線「矢川駅」下車徒歩 10 分
20	たましん歴史・美術館	JR 中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 10 分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 5～7 分
23	町田市立博物館	小田急線・JR 横浜線「町田駅」より町田バスセンター 11 番乗り場発「藤の台団地」「鶴川団地」「鶴川駅」行きバス「市立博物館前」下車徒歩 7 分
24	町田市民文学館ことばらんど	小田急線「町田駅」東口から徒歩 12 分、JR 町田駅ターミナル口から徒歩 8 分
25	府中市郷土の森博物館	京王線・JR 南武線「分倍河原駅」から京王バス「郷土の森総合体育館」行き 6 分、「郷土の森正門前」下車すぐ
26	小金井市文化財センター	JR 中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環⑬「小金井公園入口」下車徒歩 5 分
27	江戸東京たてもの園	① JR 武蔵小金井駅北口バス 2 番 3 番停留所よりバス「小金井公園西口」下車徒歩 5 分 ② 西武新宿線花小金井駅南口より徒歩 5 分「南花小金井」(小金井街道沿い) 停留所より「武蔵小金井駅」行きバス、「小金井公園西口」下車徒歩 5 分
28	東京農工大学科学博物館	JR 中央線「東小金井駅」南口下車徒歩 9 分
29	清瀬市郷土博物館	① 西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩 10 分 ② 西武池袋線「清瀬駅」北口バス乗り場 1 番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩 1 分
30	多摩六都科学館	① 西武新宿線「花小金井駅」北口下車徒歩 18 分 ② 西武新宿線「花小金井駅」、「田無駅」より はなバス第 4 北ルート「多摩六都科学館」下車すぐ
31	調布市郷土博物館	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩 4 分
32	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館	① 中央線三鷹駅南口または武蔵境駅南口より小田急バス国際基督教大学行にて終点下車 ② 武蔵境駅からタクシーで 10 分
33	武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館	① JR 中央線・西武多摩川線「武蔵境駅」より徒歩 12 分 ② 武蔵境駅北口よりムーバス境西循環に乗りし、4 番「武蔵野ふるさと歴史館」下車すぐ
34	日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム	JR 中央線「武蔵境」駅南口より徒歩 2 分
35	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	① 小田急線「狛江駅」、「和泉多摩川駅」より徒歩 10 分 ② 小田急線「狛江駅」北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

※たましん御岳美術館は、2019年9月末日に閉館しました。

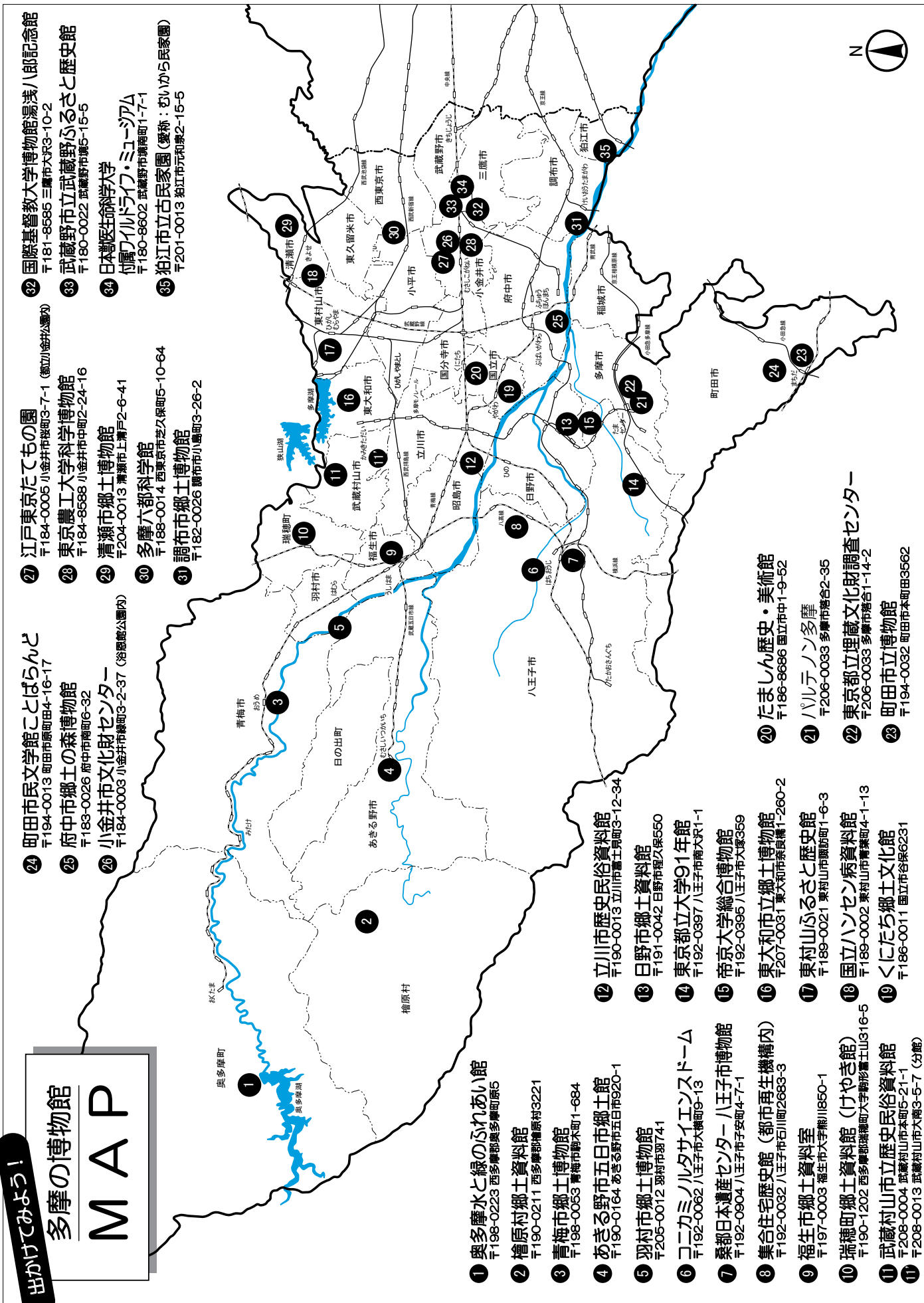
## 催し物案内2021年度春・夏号

2021年4月～9月

# 多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。  
「多摩の博物館さんぽ」とあわせて、ご活用ください。  
多摩地域の博物館をめぐってみませんか！



この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

**31 調布市郷土博物館** 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00～16:00	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3 館内燻蒸期間	入館料	無料	☎	042-481-7656
------	------------	-----	-----------------------------------	-----	----	---	--------------

●郷土学習展「ちょっと昔の暮らし」(1.13～5.16) わかりやすい解説で小学生の学習にも役立つよう、昔の暮らしの道具や調布市の移り変わりを紹介します。  
●企画展「調布にオリンピックがやって来た!～1964年あの頃～」(7.6～9.20) 1964年頃の市政・くらしの様子とともに、調布市内も競技の一部コースとなった東京オリンピックについて紹介します。  
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、来館時のマスク着用、手指の消毒及び入館票の記載にご協力をお願いいたします。なお、当面の間人数制限を設けての開館となります。最新の入館条件等については、ホームページ・ツイッターでお知らせいたします。  
【URL】 <https://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

**32 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館**  
初代学長・湯浅八郎の民藝コレクションと、キャンパスから出土した考古資料を所蔵する大学博物館。

開館時間	10:00～17:00(土曜日 日は16:30まで)	休館日	日曜・月曜・祝日・3月、7月の土曜日・ 展示準備期間(特別展開催期間外)・ 夏期休暇中および年末年始	入館料	無料	☎	0422-33-3340
------	-------------------------------	-----	--	-----	----	---	--------------

●2021年3月現在、大学の学外者入構禁止継続のため臨時閉館中です。2021年度の特別展は開催未定となっています。  
●常設展示や所蔵品紹介等のウェブコンテンツを公開しています。  
ウェブサイト、ツイッター、YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCg4-j0CyCngzMGkFhbKdJg> をご覧ください。  
●5月29日に公開講座をオンライン(ライブ)で開催予定です。詳細決まり次第上記ウェブサイトで発表いたします。  
●閉館中はお電話での対応も休止しています。お問い合わせはメールにてお願いいたします。(museum-office(a)icu.ac.jp [(a) → @])  
【URL】 [https://subsites.icu.ac.jp/yuasa\\_museum/](https://subsites.icu.ac.jp/yuasa_museum/) 【twitter】 [https://twitter.com/ICU\\_museum](https://twitter.com/ICU_museum)

**33 武蔵野市立武蔵野ふるさと歴史館**  
武蔵野市の歴史と文化を育む、「博物館」と「公文書館」の機能を持った施設です。

開館時間	9:30～17:00	休館日	金曜・祝日・年末年始	入館料	無料	☎	0422-53-1811
------	------------	-----	------------	-----	----	---	--------------

●特集展示「井の頭の原始・古代(仮)」(4.25～6.10) 原始・古代の井の頭周辺について、当館所蔵資料を用いて紹介します。  
●企画展「水と武蔵野(仮)」(5.15～7.15) 原始古代から近現代までの武蔵野の人々と水との関わりを、さまざまな資料や歴史公文書などから紹介します。  
●特集展示「井の頭と江戸」(6.27～8.26) 江戸時代の井の頭について、絵画・典籍・古文書などから紹介します。  
●企画展「武蔵野の縄文時代草創期(仮)」(7.24～9.22) 御殿山遺跡出土縄文時代草創期の土器・石器について紹介します。  
●特集展示「井の頭の民俗(仮)」(9.12～11.11) 井の頭にまつわる伝承などについて当館所蔵資料を用いて紹介します。  
【URL】 [http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi\\_guide/shogaigakushu\\_koza/rekishikan/](http://www.city.musashino.lg.jp/kurashi_guide/shogaigakushu_koza/rekishikan/)

**34 日本獣医生命科学大学 付属ワイルドライフ・ミュージアム**  
工事のため休館中。

開館時間	事務室営業時間 火曜日 ～金曜日 8:30～17:00/ 土曜日 9:30～18:00	休館日	【休館日程】 4.1～2022.3末(予定)	入館料	-	☎	0422-31-4151
------	---	-----	---------------------------	-----	---	---	--------------

展示室が設置されている本学一号棟の周辺環境整備工事に伴い、長期休館を実施しています。展示再開は2022年度内を予定しております。※今後の状況により、休館日程が変更になる場合がございます。  
●本学一号棟 本学一号棟は、「旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)」の名称で、国の登録有形文化財(建造物)に認められた建物です。1909年に竣工した旧東京市麻布区役所庁舎を前身とし、1937年に現在の場所に移築して以来、学校校舎として活用を続けています。  
●休館中の情報について 博物館公式サイトをご覧ください。また、博物館公式 facebook(<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum>) では活動日誌や資料紹介を公開しています。  
【URL】 <https://www.nvlu.ac.jp/universityinstitution/004.html/>

**35 狛江市立古民家園(愛称:むいから民家園)**  
文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30～16:30	休館日	月曜日(休日にあたるときはその翌 開園日)、年末年始(12.28～1.4)	入館料	無料	☎	03-3489-8981
------	------------	-----	--	-----	----	---	--------------

●年中行事展示 端午の節句、七夕飾り、盆棚飾りなど、節句などに合わせて展示を予定しています。  
●教室・講座 地域の生活文化や伝統文化を体験する教室などを予定しています。子ども向けの体験教室もあります。詳細は、狛江市広報または狛江市教育委員会ホームページをご覧ください。  
【URL】 <http://www.komae.ed.jp/index.cfm/12.html>



<b>26</b>	<b>小金井市文化財センター</b>	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。
開館時間	9:00～16:30	休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、臨時休館期間(10月)、年末年始(12.29～1.3)
入館料	無料	☎ 042-383-1198
<p>●当館は作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。</p> <p>●季節展「名勝小金井桜」(3.27～5.30) 玉川上水堤の桜並木「名勝小金井(サクラ)」の歴史を錦絵や古写真で紹介</p> <p>●地域史講座(8～9月予定:4回、募集は市報にて)</p> <p>●ほか、武蔵小金井まちかど歴史ミュージアム(小金井市本町6-2-30)を実施中</p> <p>【URL】<a href="https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html">https://www.city.koganei.lg.jp/smph/kankobunka/bunkazai/bunkazaisenta.html</a></p>		

<b>27</b>	<b>江戸東京たてももの園</b>	江戸東京の歴史的建造物を移築し、復元・保存・展示するとともに、文化遺産として次代に継承することを目指した野外博物館。 ※4.21まで臨時休園(状況によって変更する場合がございます)
開園時間	4～9月:9:30～17:30 10～3月:9:30～16:30 (入園は閉園の30分前まで)	休園日 月曜日(祝日の場合は翌日) ※7.26・8.2・30は臨時開園 年末年始(12.24～1.1)
入園料	大人400円、中(都外)高生200円、大学生320円、65才以上の方200円、小中(都内)無料	☎ 042-388-3300
<p>●展示室「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展 3期」(4.22～5.30)、「ぬくもりと希望の空間～大銭湯展 4期」(6.26～9.12)</p> <p>●春夏の催し「ちょっと涼しいたてももの園」(7月下旬～8月下旬)、「夜間特別開園 下町夕涼み」(8.14・15)</p> <p>「綱島家年中行事」梅漬け・土用干し(6月上旬～8月土用の頃)、盆棚の展示(6月下旬～8月中旬)、十五夜飾り(9月中旬頃)</p> <p>●定例の催し 伝統工芸の実演(第2土曜日と翌日曜日)</p> <p>【URL】<a href="https://www.tatemonoen.jp/">https://www.tatemonoen.jp/</a></p>		

<b>28</b>	<b>東京農工大学科学博物館</b>	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。
開館時間	10:00～17:00(入館は16:00まで)	休館日 日曜・月曜・祝日、5月31日(創立記念日)、年末年始等
入館料	常設展無料	☎ 042-388-7163
<p>●WEB企画展:「勸工寮葵町製糸場図面3D復元プロジェクト」(3.23～) 明治初期の官営製糸場「勸工寮葵町製糸場」の3D復元が完成し、模型と動画が出来上がりました。多くの方にご覧いただけるよう、WEB企画展を開催いたします。</p> <p>●SNSでの情報発信、360度デジタルビューなどを公開しています。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、当面の間、臨時休館を延長します。休館期間は変更になる場合がありますので、当館のWEBサイトをご確認ください。 【URL】 <a href="http://www.tuat-museum.org/">http://www.tuat-museum.org/</a></p>		

<b>29</b>	<b>清瀬市郷土博物館</b>	清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
開館時間	9:00～17:00	休館日 月曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3
入館料	無料	☎ 042-493-8585
<p>●特別展「文化勲章受章記念 澄川喜一展(仮称)」(7.3～25)、「北斎・広重リマスターアート浮世絵展(仮称)」(8.21～9.12)</p> <p>●テーマ展示「出征・便り・帰還」(～8.9)、「清瀬の農業(仮称)」(8.17～)</p> <p>●講座・観察会 自然観察会(4.18)、文化財散歩(5.29)、テーマ展示関連講座(6・9月予定)、歴史講座(6・8・9月予定)、昔の暮らし体験学習(8.7～8)</p> <p>●年中行事 小麦の棒打ち(7.4)</p> <p>●先人の知恵に学ぶシリーズ 染物教室(4.25/6.25/9.26)、柏餅作り講習会(5.14)、うどん作り講習会(5.23/6.11)、はたおり講習会(7.9)</p> <p>●その他の事業 ミュージアムシアター(4.22/5.20/6.17/9.16)、ミュージアムコンサート(9.5)、体験はたおり(8月予定)</p> <p>【URL】<a href="http://www.museum-kiyose.jp/">http://www.museum-kiyose.jp/</a></p>		

<b>30</b>	<b>多摩六都科学館</b>	世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。
開館時間	9:30～17:00(入館は16:00まで)	休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.28～1.3)、その他機器整備の休館あり(4.9・12～15、5.10～13、9.1～3、9.24)
入館料	大人520円、小人(4歳～高校生)210円 ※年間パスあり プラネタリウム、大型映像は別料金	☎ 042-469-6100
<p>●春の特別企画展「47都道府県の石 - 「県の石」を見てみよう - 」(3.20～5.9 ※4.16・20～23・27・28は閉場) 47都道府県の「県の石」を展示します。自分の出身地やゆかりのある都道府県の石を観察して、その土地の成り立ちを考えてみましょう。</p> <p>●生解説プラネタリウム「ノチウーアイヌ民族の星座をたずねて」(4.16～7.6) 北海道や東北地方などに暮らしてきたアイヌ民族には、独自の星座・星名が伝わっています。アイヌ語で星は「ノチウ」。ノチウのおはなしをたずねて北の空へ向かいましょう。</p> <p>●夏の特別企画展「パズル展2021(仮)」(7.22～9.5) 抽象的で展示として扱うことが難しい数学を、パズルという切り口で取り上げます。様々なタイプのパズルで遊ぶことを通して、数学の魅力・面白さに出会えます。</p> <p>【URL】<a href="https://www.tamarokuto.or.jp">https://www.tamarokuto.or.jp</a></p>		

<b>1</b>	<b>奥多摩水と緑のふれあい館</b>	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
開館時間	9:30～17:00	休館日 水曜日(祝日の場合は翌日) 12.28～1.4 11.14は開館
入館料	無料	☎ 0428-86-2731
<p>情報は、随時東京都水道局ホームページに掲載予定 【URL】<a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></p>		

<b>2</b>	<b>檜原村郷土資料館</b>	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。
開館時間	4月～11月9:30～17:00 12月～3月10:00～16:00	休館日 火曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始
入館料	無料	☎ 042-598-0880
<p>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」鑑賞室では「檜原村歳時記」・「重要文化財小林家住宅修復記録映像」・「檜原村の郷土芸能」がご覧いただけます。 ●特別展「夏休み昆虫標本展」(8.1～8.30) 主に村内で採集された昆虫約450点を展示。</p> <p>●特別展「檜原村のお祭り写真展」(9.19～10.17) 檜原村で行われているお祭り・郷土芸能の写真約50点を展示します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の状況により開催中止や期間の変更等の可能性もあるためご予約の方は資料館までお問合せ下さい。</p> <p>【URL】<a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/000000019.html</a></p>		

<b>3</b>	<b>青梅市郷土博物館</b>	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。
開館時間	9:00～17:00	休館日 月曜日(祝日の場合は翌平日) 12.29～1.3
入館料	無料	☎ 0428-23-6859
<p>●「新収蔵品展2021」(4.17～6.20) 令和元年度から令和2年度に寄贈を受けた新収蔵品を展示します。</p> <p>●市制70周年記念展「ゆめうめちゃんに行く時間旅行～青梅市誕生のひみつ～」(7.3～) 青梅市は今年、市制施行70周年を迎えました。本展では、市公式キャラクターの「ゆめうめちゃん」が70年前の市制誕生前後にタイムスリップした設定で、市制施行当時の関連資料などを展示し、市制の成り立ちについて紹介します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、来館時のマスクを着用及び手指の消毒にご協力をお願いいたします。なお、状況に応じて、臨時休館させていただく場合がありますので、ご予約の方は博物館までお問合せ下さい。</p> <p>【URL】<a href="http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html">http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</a></p>		

<b>4</b>	<b>あきる野市五日市郷土館</b>	五日市の歴史・民俗・自然について紹介。五日市憲法関係資料を展示。
開館時間	9:30～16:30	休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12.27～1.4)
入館料	無料	☎ 042-596-4069
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然・化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記事を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。 ●企画展「(仮)オリンピックとあきる野」</p> <p>●年中行事(旧市倉家住宅) 五月人形(4月～5月)、七夕飾り(7月)、十五夜(9月)</p> <p>【URL】<a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/0000001285.html</a></p>		

<b>5</b>	<b>羽村市郷土博物館</b>	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。
開館時間	9:00～17:00(旧下田家住宅は9:00～16:00)	休館日 月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3
入館料	無料	☎ 042-558-2561
<p>●企画展「こいのぼりと五月人形展」(3.27～5.16) ●企画展「錦亀館(仮)」(6.5～8.22)</p> <p>●ミニ展示「玉川上水を調べよう!」(6.12～3.31) ●季節かざり「七夕かざり」(6.19～7.11)</p> <p>●体験学習会「まゆから糸をひこう!」(8.14) ●特別展「土器と羽村(仮)」(9.11～12.19)</p> <p>●季節かざり「お月見かざり」(9.18～9.26)</p> <p>※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、来館時のマスク着用及び手指の消毒・館内受付での検温、連絡先の記入にご協力をお願いいたします。なお、(公財)日本博物館協会のガイドラインなどにに基づき、入館制限を実施する場合があります。</p> <p>【URL】<a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>		

<b>6</b>	<b>コニカミノルタサイエンスドーム(八王子市こども科学館)</b>	プラネタリウムと「遊び科学」「宇宙」などの参加体験型の展示。
開館時間	10:00～17:00(ただし水～金曜9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日 月曜日、火曜日、祝日の翌日、年末年始など(夏休み期間は無休)
入館料	大人200円、4歳～中学生100円(プラネタリウム料金別、セット割引あり)	☎ 042-624-3311
<p>●プラネタリウムでは「ポケットモンスター オーロラからのメッセージ」、「しまじろうとおつきさまのひみつ」、「ティラノサウルス 最強恐竜 進化の謎」(3/26～4/5、4/29、5/1～5)、 「オーロラ 生命の輝き」(4/28まで)、「銀河鉄道の夜」(5/8から)を投影。第二日曜日は「生解説プラネタリウム 星空散歩」季節の星座や天文現象を解説。(午後3時30分～)。第四日曜日は「全編生解説プラネタリウム」4～6月のテーマは「ハワイの星座と南十字星」。(午後3時30分～) ※土日祝、春休み、夏休み、夏休みのプラネタリウムは予約制です。ホームページからお申し込みください。大人500円、4歳～中学生150円、3歳以下無料(毎週土曜日は中学生以下は無料)</p> <p>●土日祝、春休み、夏休みには親子で楽しめる「工作教室」などを開催。 ※工作教室は予約制です。ホームページからお申し込みください。 ※展示物は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休止中です。ご利用いただけません。</p> <p>※休館日はホームページ等でご確認ください。</p> <p>【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/p011705.html</a></p>		

<b>7</b>	<b>桑都日本遺産センター 八王子博物館</b> 日本遺産の魅力をはじめとした八王子の歴史と文化を紹介。車人形や織物の体験も。						
開館時間	10:00～19:00	休館日	年末年始、その他館内整理日	入館料	無料	☎	042-622-8939
●令和3年3月31日に閉室した八王子市郷土資料館の展示室を令和3年4月29日にJR八王子駅南口サザンスカイトワー八王子の3階に新たに開設。 【URL】 <a href="https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html">https://www.city.hachioji.tokyo.jp/shisetsu/003/hachihaku.html</a>							

<b>8</b>	<b>集合住宅歴史館</b> （独立行政法人 都市再生機構） 歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。						
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始	入館料	無料 ※事前予約制	☎	042-644-3751
●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。 ●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など ●見学方法 事前予約制のため予め電話で申込みください。 【URL】 <a href="http://www.ur-net.go.jp/rd/">http://www.ur-net.go.jp/rd/</a>							

<b>9</b>	<b>福生市郷土資料室</b> 福生を中心とした多摩の歴史・民俗・自然を紹介しています。膳枕倉の復元展示も行っています。						
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）、年末年始	入館料	無料	☎	042-530-1120
●福生市制施行50周年記念企画展示「福生市郷土資料室のコレクション展」(2.6-4.18) 森田文庫やちりめん本、新聞錦絵など郷土資料室の展示事業の中核をなす様々なコレクションをはじめ、現在収集に力を入れている現代の資料などについて紹介する展示をおこないます。 ●企画展示「福生の成り立ちと人びとのあゆみ」(4.24-6.27) 本展示では、古文書や絵図、写真など人々の営みを伝える様々な資料を通して、福生の歴史を概観するとともに、福生に暮らしていた人々の生活や地域の移り変わりを紹介します。特に、今年度開業90周年にあたる八高線に関連する資料や、令和2年度に新たに福生市登録有形文化財として登録された「福生青年団関係資料」などを展示します。 ●企画展示「子どもと学ぶ『平和のための戦争資料展』」(7.3-9.12) 終戦の日に合わせて、子どもにわかりやすい内容で戦争資料の展示を行います。 ●企画展示「栗原一郎展」(仮) (9.18-10.10) 福生市出身で著名な現代洋画家として知られる栗原一郎氏の作品を展示します。 【URL】 <a href="https://www.museum.fussa.tokyo.jp">https://www.museum.fussa.tokyo.jp</a>							

<b>10</b>	<b>瑞穂町郷土資料館（けやき館）</b> 瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。						
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し、翌日休館）、年末年始(12.29～1.3)、臨時休館日	入館料	無料	☎	042-568-0634
●パネル展示「万葉集と山野草」(4.3～5.16) 万葉集で詠われた万葉の植物たち。移りゆく季節の中で、折々の山野草に心を寄せた万葉びとの詠を紹介しします。 ●企画展「身近な昆虫、ここが面白い！」(4.10～6.20) 瑞穂町周辺に生息している虫たちのなかで、面白くて不思議な生態をもつ昆虫にスポットを当てながら、身近にいる昆虫の知られざる一面を幅広く紹介します。 ●特別展「鉄道に関する展示」(7月中旬～9月中旬(予定)) 瑞穂町には昭和6年(1931)に箱根ヶ崎駅に八高線がやって来て以来、鉄道は瑞穂町に根付いています。展示では瑞穂町の鉄道の歴史を紹介しします。 【URL】 <a href="https://mizuhokyodo.jp">https://mizuhokyodo.jp</a>							

<b>11</b>	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館</b> 武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。 分館 武蔵村山の戦争資料をもとに、戦時中の市域の人々の生活の様子などの一端を紹介。						
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3 分館：月・火曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料	☎	本館 042-560-6620 分館 042-566-3977
●常設展 丘陵と台地が育む生命のあゆみ～人と自然との共生～ ●特別展「武蔵村山を歩く」(3.13～5.23) 市内の文化財をめぐるコースを紹介します。 ●年中行事展「端午の節供」(4.10～5.9)、「七夕飾り」(6.26～7.7) ●夏休み子ども展示「狭山丘陵の自然(仮)」(7.17～9.5) ●夏休み親子体験教室「テーマ未定」(日程調整中) 分館：●常設展 戦時中(アジア・太平洋戦争)の武蔵村山 【URL】 <a href="https://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html">https://www.city.musashimurayama.lg.jp/kankou/spots/rekishiminzoku/index.html</a>							

<b>22</b>	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター</b> 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。						
開館時間	9:30～17:00	休館日	年末年始、メンテナンス休館(10.29・11.30・R4.2.25)、R4.3.10～3.18(展示替え)	入館料	無料	☎	042-373-5296
令和3年度企画展示「現場のミカタ―発掘調査を読み解く―」 ●縄文レリーフ作り(7.31午前) 昔の人びとは、土器や石器といったモノをどのように扱っていたのでしょうか?このギモンを解く手がかりは、「現場」、 ●縄文パクパクを作ろう(8.4) すなわち発掘調査現場にあります。令和3年度企画展示では、 ●縄文アートを楽しもう(8.5) 多摩ニュータウン遺跡群の「現場」を舞台に、モノが遺跡から出土した様子に目を向けてみます。 ●縄文の布作り(8.11・8.25午前) ●勾玉作り(8.14午後) ●火おこし道具作り(8.14午前) ●植物から糸を作ろう(8.18午前) ●縄文土器作り(9.4・9.5) ●縄文土器の野焼き(9.25) ※企画展示の会期およびイベントの日程・開催方法等は変更になる場合がございます。その際は当センターホームページ等でお知らせいたします。 【URL】 <a href="https://www.tef.or.jp/maibun/">https://www.tef.or.jp/maibun/</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/tokyo_maibun">https://twitter.com/tokyo_maibun</a>							

<b>23</b>	<b>町田市立博物館</b> リニューアルのため休館中です。						
開館時間	事務室営業時間 9:00～16:30	休館日	土日祝日および年末年始	入館料	閉館中	☎	042-726-1531
館外でのミニ展示、体験講座、イベントへのブース出展を行います。詳しくは町田市立博物館ホームページなどをご確認ください。 ※2019年6月16日をもって、町田市立博物館での展示会は終了しました。 【URL】 <a href="http://www.city.machida.tokyo.jp/">http://www.city.machida.tokyo.jp/</a> 【twitter】 <a href="https://twitter.com/machida_museum">https://twitter.com/machida_museum</a>							

<b>24</b>	<b>町田市民文学館ことばらんど</b> 「文学」「ことば」「文字」の魅力や楽しさを展覧会や講演会を通して紹介						
開館時間	10:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 毎月第2木曜日(祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館)	入館料	春季企画展は有料。夏季企画展は無料。詳細は当館HPでご確認ください	☎	042-739-3420
●春の企画展「開館15周年・ZARD30周年YEAR ZARD/坂井泉水 心に響くことば」展(5.15～7.11) 「負けないで」や「揺れる想い」など数多くのヒット曲を生みだし時代を走り去ったZARD/坂井泉水の代表曲を振り返りながら、坂井が愛唱した石川啄木の短歌や「詞」に込められた想いに注目し、直筆歌詞やレコーディング資料などを通して、詞が紡ぎだされるまでを紐きます。 ●夏の企画展「のりもの絵本あつまれ！」展(7.31～10.3) 時代を超えて多くの子どもたちが夢中になる「のりもの絵本」は、機械への憧れや好奇心をくすぐり、遠い場所へ連れて行ってくれるワクワク感をもたらしてくれます。本展では絵本原画だけでなく模型も展示し、ワクワク・楽しい「のりもの絵本」をご紹介します。 【URL】 <a href="https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html">https://www.city.machida.tokyo.jp/smph/bunka/bunka_geijutsu/cul/cul08Literature/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/machida_kotoba">https://twitter.com/machida_kotoba</a>							

<b>25</b>	<b>府中市郷土の森博物館</b> 府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。						
開館時間	9:00～17:00 (入場は16:00まで)	休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、臨時休館	入館料	大人300円、4歳～中学生150円	☎	042-368-7921
●プラネタリウム特別投映「七タプラネタリウム」(7.4) ●ボランティアによる歳時展「五月人形」(4.24～5.13)、「むかしの夏のくらし」(7.17～9.9) 市民から寄贈された資料を復元建築物などに展示します。 ●「宇宙ワクワクイベントデー」(5.15～7.17の土曜日) 宇宙や星を楽しめるイベントを開催予定。詳細はホームページなどで。 ●あじさいまつり(5.29～7.4) 園内の古民家とあじさいのコラボレーションをお楽しみください。 ※博物館本館2階では、令和4年4月頃まで天井改修工事を行います。これに伴い、常設展示室、企画展示室、特別展示室は休室中です。また、プラネタリウムは5.8～7.17、8.31～11.30の間、日曜日・祝日のみの投映となります。 【URL】 <a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a> 【Twitter】 <a href="https://twitter.com/kyodo_no_mori">https://twitter.com/kyodo_no_mori</a>							

12	<b>立川市歴史民俗資料館</b>					
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺き屋根の川越道緑地古民家園もあります。					
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（月曜祝日の場合は翌日）	入館料	無料	☎ 042-525-0860
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展示 原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介しています。</li> <li>●ミニ企画展「端午の節句」（4.6～5.9）市民のみなさまから寄贈された五月人形を、立川市歴史民俗資料館と川越道緑地古民家園で展示します。</li> <li>●企画展「新収蔵品展」（6.15～7.11）令和2年度に新たに寄贈された資料の一部を公開します。</li> <li>●ミニ企画展「七夕飾り」（7.1～7.7）季節に合わせて七夕飾りを展示します。</li> <li>●企画展「立川の遺跡 2021」（7.27～9.5）令和2年度に市内で出土した資料などを展示します。</li> <li>●写真展「立川駅前の変遷（仮）」（9.11～10.11）博物館実習生による企画展です。立川駅前の変遷を写真で紹介いたします。 【URL】<a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</a></li> </ul>						

13	<b>日野市郷土資料館</b>					
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-592-0981
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「訪ねてみよう 日野の自然」（4.3～10.17）日野の地形や動植物、日野にはどのような特徴があるのかについて、写真や標本を展示し、自然観察や散策の楽しみ方とともに紹介します。</li> <li>●郷土資料館パネル展 展示室廊下に年4回テーマを変えてパネル展を開催します。 春 程久保の歴史と自然（4.28～）、夏 明日に伝える戦争体験 ※詳細についてはホームページをご参照ください。 【URL】<a href="https://hino-museum.jp">https://hino-museum.jp</a></li> </ul>						

14	<b>東京都立大学 91 年館</b>					
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。					
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料	☎ 042-677-1111 内線 2041
<ul style="list-style-type: none"> <li>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。東京都立大学の所在する東京・多摩地区に密着した研究成果から、世界各国の話題に至るまで、研究成果を親しみやすく紹介します。</li> <li>●当展示室では新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、現在、臨時閉室としております。なお今後の予定は、ウェブサイトの開室日カレンダー等にてお知らせいたします。 【URL】<a href="http://tmu-gakugei.jp/index.html">http://tmu-gakugei.jp/index.html</a></li> </ul>						

15	<b>帝京大学総合博物館</b>					
	帝京大学が所蔵する貴重な資料や研究成果を紹介。					
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	日曜日・祝日・創立記念日・臨時休館日	入館料	無料	☎ 042-678-3675
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「帝京大学理工学部創設30周年記念 理工学部のラボのなか！～コトワリとワザの探究」（5.29まで） 理（コトワリ）と工（ワザ）の探究者たちが向き合い続ける研究対象の資料を通して、普段入ることのできない「ラボのなか」から生み出される、「面白い」研究成果の一端を紹介いたします。実物のヘリコプターや学生フォーミュラ、超小型衛星をはじめ、魅力的な13テーマがみなさんをお待ちしています。</li> <li>●最新研究講座 理（コトワリ）と工（ワザ）の研究者たち（事前申込制） 「自ら癒して繋ぎ合やす - 植物の傷の癒合 -」（4.24） 「ロボットコンテスト世界大会への挑戦」（5.29） 【URL】<a href="http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/">http://www.teikyo-u.ac.jp/introduction/tum/</a></li> </ul>						

16	<b>東大和市立郷土博物館</b>					
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。プラネタリウムクリエーター大平氏の投影機メガスターが評判。					
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料 （プラネタリウムは有料）	☎ 042-567-4800
<ul style="list-style-type: none"> <li>●プラネタリウム春番組（3.20～6.13） / プラネタリウム夏番組（6.19～9.12） / プラネタリウム秋番組（9.18～）</li> <li>●企画展示「道具今むかし」（3.20～5.5）</li> <li>●企画展示「飛ぶ虫・飛ばない虫」（7.17～9.5）</li> <li>●旧吉岡家住宅 春の公開（5.28～30）10:00～16:00</li> <li>●その他各種講座を随時開催 【URL】<a href="http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html">http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366.html</a></li> </ul>						

17	<b>東村山ふるさと歴史館</b>					
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。					
開館時間	9:30～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料	☎ 042-396-3800
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「地域資料が語る天災と東村山」（4.29～6.27） 近世～近代の地域資料を中心に、「凶作」「地震と噴火」「水害」「文化財を守る」「防災」というテーマから、天災による社会の変容について展示いたします。</li> <li>●夏休み対応展示「自由研究のたね」（7.17～8.29）</li> <li>●資料整理のため臨時休館（9.1～9.3） ◆東村山ふるさと歴史館 【URL】<a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/furusato/</a> ◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】<a href="https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/">https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishi/hachikokuyama/</a></li> </ul>						

18	<b>国立ハンセン病資料館</b>					
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。					
開館時間	9:30～16:30 （入館は16:00まで）	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料	☎ 042-396-2909
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「『青い芽』の版画展 一多磨全生園の中学生が彫った「日常」の風景」（3.2～4.29）国立療養所多磨全生園の中学校にて児童が制作した、各年の卒業文集に掲載された木版画107点を展示。</li> <li>●ミュージアムトーク2021（オンライン開催）各回100人まで・要事前申し込み（当館HPより）第4回「歴史の継承～長島愛生園歴史館の取り組み～」（4.24 講師：田村朋久）／第5回「機関誌『高原』のあゆみ」（6.19 講師：干川直康、聞き手：木村哲也）／第6回「戦後ハンセン病療養所における短歌—合同歌集『陸の中の島』を中心に」（7.17 講師：木村哲也）</li> </ul> <p>※新型コロナウイルス感染症対策のため入館にあたって予約制・人数制限を導入中。 オンライン展示解説（ライブ）、出張講座（オンライン対応可）を実施中。いずれも10人以上の団体向け。ほか各種オンラインイベントなどを実施しています。いずれも無料。詳しくは当館HP参照。 【URL】<a href="http://www.hansen-dis.jp/">http://www.hansen-dis.jp/</a></p>						

19	<b>くにたち郷土文化館</b>					
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。					
開館時間	9:00～17:00 （入館は16:30まで）	休館日	第2・4木曜日（祝日の場合は翌日）、12.29～1.3	入館料	無料	☎ 042-576-0211
<ul style="list-style-type: none"> <li>●春季企画展「関頑亭 - 人生、飄々と。-」（5.1～6.13）本展では、国立を代表する文化人のひとり、関頑亭氏が少年の頃に描いた絵画から、晩年の作品まで、さまざまな作品と共に、氏の文化活動や人々との交友を表す資料をあわせて紹介します。「素」の心を大切に、日々呼吸をするように絵を描き、彫刻を作り続けてきた頑亭氏のその生涯に想いを寄せご覧ください。</li> <li>●夏季企画展「甲野 勇 くにたちに来た考古学者」（7.22～9.12）甲野勇氏は、戦後まもない昭和21年から昭和42年に亡くなるまでの、およそ20年間を国立に暮らした考古学者です。縄文土器の編年体系の基礎を作ったことで有名ですが、戦後は多摩地域を自身の研究フィールドとして活躍しました。本展では、甲野勇氏旧蔵の資料から、甲野氏がその生涯をかけて取り組んだ、博物館設置運動や文化財保護活動を中心に紹介します。 【URL】<a href="https://www.kuzaidan.or.jp/province/">https://www.kuzaidan.or.jp/province/</a></li> </ul>						

20	<b>たましん歴史・美術館</b>					
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。					
開館時間	10:00～18:00 （入館は17:30まで）	休館日	月曜日、祝日	入館料	100円 ※中学生以下無料	☎ 042-574-1360
<ul style="list-style-type: none"> <li>●たましんコレクション常設展Ⅰ（2021.5.22～8.29）</li> <li>●たましんコレクション常設展Ⅱ（2021.9.11～12.26） 【URL】<a href="http://www.tamashin.or.jp/">http://www.tamashin.or.jp/</a></li> </ul>						

21	<b>パルテノン多摩</b>					
	多摩市を中心とした多摩丘陵と多摩ニュータウンの環境と人々のいとなみの変容を探り、地域の記憶を継承する。					
開館時間	大規模改修のため2022年3月中旬まで休館	休館日	-	入館料	-	☎ 042-375-1414
<ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなの植物観察会（事前申込制・定員制・先着順） ■「水のチカラを利用する」（5.18）観察地：せせらぎ緑道（八王子市別所）受付期間（4.12）10:00～（5.7）16:00、■「秋近し」（9.21）観察地：八王子市下柚木 受付期間（8.17）10～（9.13）16:00、■「秋の七生丘陵」（10.12）観察地：日野市程久保。受付期間（9.6）10:00～（10.4）16:00。受講料300円、各回とも10時集合12時解散。予約は申込フォーム（当館ホームページより）か、電話（平日10:00～16:00）。歩きやすい服装で。要マスク着用。受付時に手の消毒と検温を実施。詳細はホームページをご覧ください。</li> <li>●丸善多摩センター店連携展示「多摩の幕末 明治」（4.16-7.15）幕末明治期の多摩では、農兵隊たちに刀を供給した鍛冶屋や、多くの子分を従えた任侠、明治天皇の来訪など、さまざまな人々の動きを見ることができます。ここでは当時の多摩に関する図録や一般書籍とともに解説パネルを用いて展示します。</li> <li>●パルテノン多摩は休館中も古文書講座などを開催します。また、リニューアルオープンを見据えて、市民学芸員も活動を継続します。ご期待ください。 【URL】<a href="https://www.parthenon.or.jp/museum/">https://www.parthenon.or.jp/museum/</a> 【Twitter】<a href="https://twitter.com/par_tama_museum">https://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】<a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a></li> </ul>						